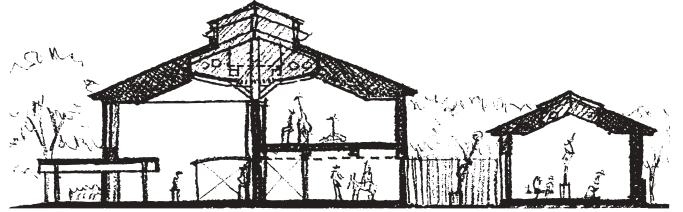




あさご芸術の森美術館
—淀井敏夫記念館—

2018/12
第59号

美術館だより
友の会だより



淀井敏夫「少女胸像」(1952年)／ブロンズ／H55×W35×D26cm

モデルを前にして制作された肖像ではあるが、戦前につくられた肖像にくらべると、写実性よりも量塊によるフォルムの強さが前面に出ている。

第7回

あさご
アートコンペティション

ASAGO ART COMPETITION 2018

大賞は荒木孝典さんの「9月30日(Sの肖像)」

「第7回あさごアートコンペティション2018」を、9月15日(土)～10月21日(日)、開催しました。

偶数年は、あさご芸術の森美術館内に展示する絵画や立体、工芸などの作品を、また、奇数年には、多々良木の野外彫刻公園一帯に設置する彫刻作品を全国各地から公募しています。

今回は館内展示作品を募集し、23都府県の59人から61点の出品がありました。彫刻家 牛尾啓三、クリエイティブディレクター 加藤種男、平塚市美術館館長 草薙奈津子、彫刻家 松井紫朗の4氏に加え、多次勝昭朝来市長の5人で審査を行い、それぞれ絵画13点、立体9点が選ばれました。

それぞれが素材や技法、表現方法など、質の高い力作が多く寄せられたことから、審査では甲乙つけがたく、作品を選ぶのに苦慮されている様子でした。その中でも対象に選ばれた荒木氏の作品はほぼ満場一致で決まるほど、引き付ける強さを持った作品でした。

今後もこのコンペティションが、新たな活躍の場の広がりとなるとともに、次のステップへとつながる創作発表の場となることを期待します。

また、本展開催にあたり、但陽信用金庫、地酒竹泉田治米(名)、「道の駅」フレッシュあさご、ターナー色彩(株)、ホルベイン工業(株)、全但バス(株)各社から、芸術作家たちに対する温かいご協賛を賜りました。お礼申し上げます。

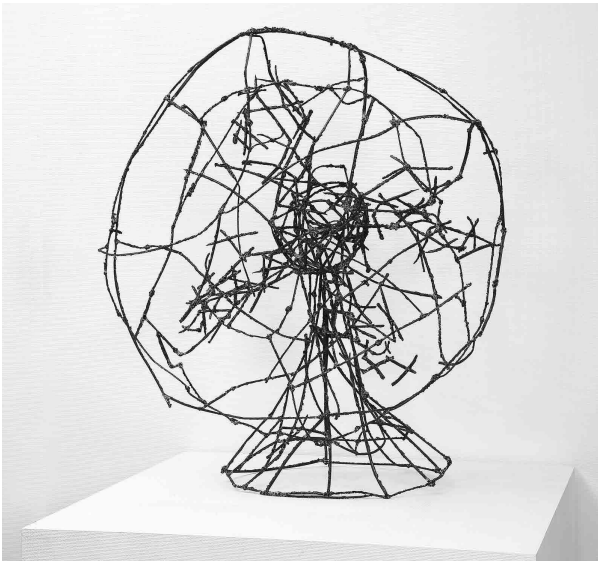


大賞…荒木孝典「9月30日(Sの肖像)」

ミクストメディア(杉板・フレスコ顔料・岩絵の具・赤土・膠・アクリルジェツソ)
H168cm×W148cm

<制作意図>

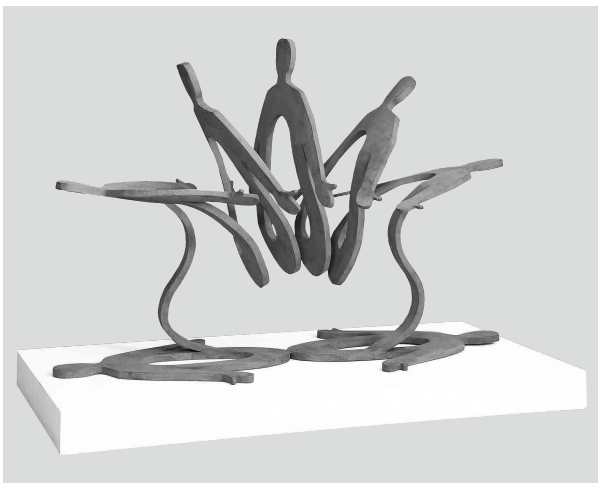
私は歴史に向き合うためのひとつの方法として絵を描いています。現代史の本を開き、歴史の中に埋もれた名もない人々の人生に思いを馳(は)せることから私の制作は始まります。



優秀賞…尾崎実哉「旋風鬼」



優秀賞…古川 樹「めぐみちゃん」



優秀賞…周藤豊治「∞」

【第7回あさごアートコンペティション2018入賞・入選者】

- 大賞 9月30日(Sの肖像) 荒木孝典(兵庫県)
 - 優秀賞 旋風鬼 尾崎実哉(和歌山県)
 - めぐみちゃん 古川 樹(大阪府)
 - ∞ 周藤豊治(島根県)
 - スポンサー賞
 - 但陽信用金庫賞 life time 増野智紀(京都府)
 - 竹泉賞 赤いポスト 谷上満夫(兵庫県)
 - フレッシュあさご賞 細胞たちの気配 土井宏二(石川県)
 - ターナー賞 生き物とカッパッパ!! 松浪吉樹(大阪府)
 - ホルベイン賞 garden 荻野沙紀(兵庫県)
 - 入選
 - 神殿 安川弘造(福岡県)
 - 蠅螂の斧 山口敏行(兵庫県)
 - すれちがう 南波久(東京都)
 - 落ちてみる 井上あや(熊本県)
 - 城 高田治(兵庫県)
 - 無題 玉木泰行(兵庫県)
 - ふかききりまどう 大森梨紗子(兵庫県)
 - 時の石・I 中谷聡(長野県)
 - カフェ空間 吉田満(富山県)
 - 空間収集 生きていたもの・こと 佐藤隼(長野県)
 - Real 杉裕貴紀(岡山県)
 - 水路と屏風 早川信志(沖縄県)
 - 溶積 佐々裕治(愛知県)
- (賞ごとに受付順)

表彰式

10月21日(日)、展示会場で表彰式を行いました。式典には大賞を受賞した荒木さんをはじめ、多くの受賞者が参加。また、会場には谷衆議院議員をはじめ、多くのご来賓にお祝いに駆け付けていただきました。表彰式終了後、受賞作家によるギャラリートークが行われ、それぞれ、表現方法や技法・素材をはじめ、作品制作に対する考えや、美術館に対する思いなどを語りました。



表彰式



ギャラリートーク

第14回

全国こども絵画選抜展 2018

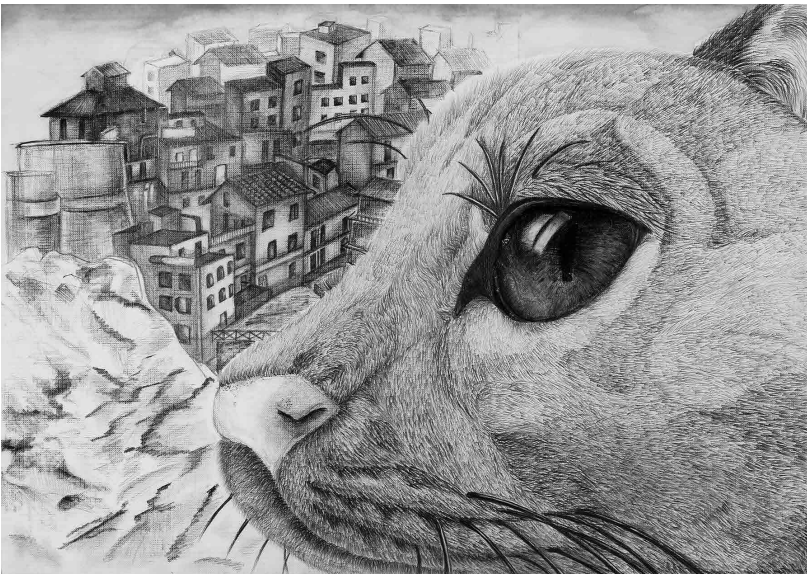
全国から2,241点集まる

今回は、国内145の小・中学校や絵画教室から2,241点の作品が寄せられました。昨年より403点増えて、かなり狭き門となりました。秀作が多く、7人の審査員たちは審査に苦慮しながらも、106点の入賞・入選を決定しました。いずれも、募集テーマの「花と緑」「ふるさと」に沿った、すばらしい作品ばかりで、花を愛し郷土を大切にしている気持ちがひしひしと伝わってきました。

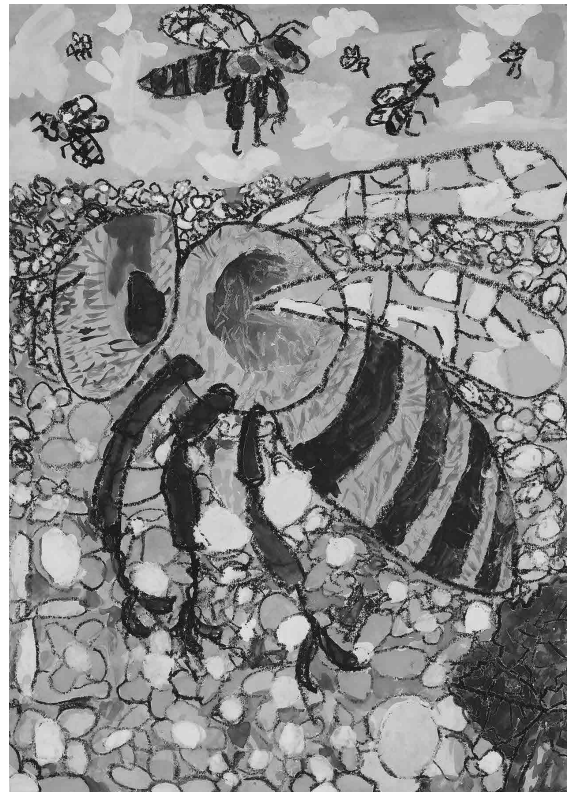
惜しくも選に漏れた作品の中にも、入選・入賞とそん色のない力作が多くありましたが、技術的な描写力はもちろんですが、特に着眼点や題材の面白さ、技法の工夫がなされているかという点が最も選考に大きく左右したのではないのでしょうか。

12月2日(日)には、あさご芸術の森美術館2階展示室において、表彰式を行いました。出席した入賞・入選の70人のこどもたちが、その家族をはじめ、多くのご来賓の方々に囲まれ、温かい雰囲気の中で、ともに受賞の喜びを分かち合えたことは、主催者側としても大変うれしく思います。

また、今回から、広く「全国こども絵画選抜展」を知ってもらうため、巡回展の会場として加古川市民ギャラリーを加えました。



ふるさと大賞／「異国の街を見つめる猫」
中嶋和沙(大阪府・artびらす／中学3年)



花と緑の大賞／「蜂と花」
井上雄斗(兵庫県・小東山アートスクール／小学2年)

巡回展

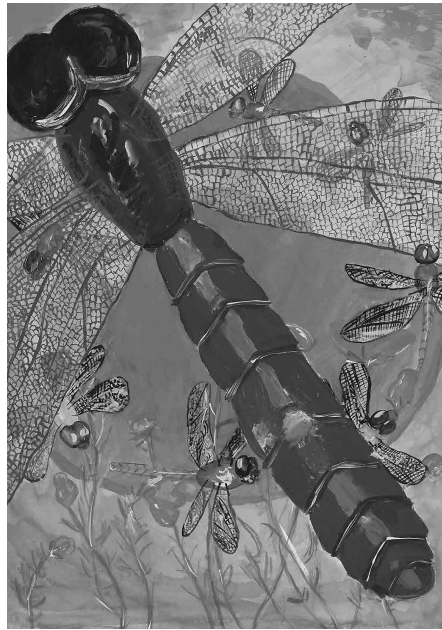
●加古川市民ギャラリー／12月23日(日)まで

●アートホール神戸／1月17日(木)～1月22日(火)

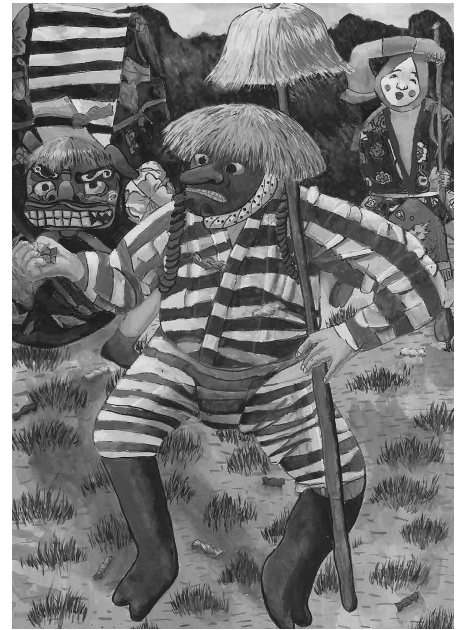
※上記会場では壁面の都合により30～50点程度の展示となります。※巡回展は入場無料です。



兵庫県知事賞「帰り道の魔法」
的場美玲
(兵庫県加古川市立中部中学校3年)



兵庫県知事賞「夕日とトンボ」
金沢雨辰
(大阪府堺市立深阪小学校5年)



朝来市長賞「秋祭り」
覚田晴日
(兵庫県・小束山アートスクール／小学6年)



朝来市長賞「華やかな春の夜」
熊木 輝(兵庫県豊岡市立豊岡北中学校3年)



審査会場の朝来体育館いっぱいに並べられた応募作品



審査風景

森はな賞

朝来市では朝来市出身の児童文学作家「森はな氏」の文学普及を推進しています。「全国こども絵画選抜展」をきっかけに、人や自然、ふるさとをいとおしむ心であふれた森はな作品に触れていただくことを期待して、「森はな賞」を設けています。

【朝来市内の入賞・入選者】

◆朝来市議会議長賞

加藤 世菜／枚田小学校5年

◆あさご芸術の森美術館友の会賞

岩野 哲／朝来中学校3年

◆優秀賞

鴨谷 空／山口小学校5年

◆入選

吉田 温喜／竹田小学校1年

雪岡 希美／竹田小学校1年

加藤 瑚雪／枚田小学校4年

小原 岳士／生野小学校5年

衣川 瑛人／梁瀬小学校6年

谷口夕圭吏／朝来中学校1年

(順不同)



あさご芸術の森美術館の玄関前で記念撮影

開催中の
企画展

アート2019 干支展

〈会期〉2019年1月14日(月・祝)まで 〈会場〉2階企画展示室

毎年恒例の「アート2019^{えと}干支展」を開催しています。テーマは2019年の干支「亥^{いのしし}」。絵画、彫刻、書、工芸など様々な手法を用いて作家がバラエティ豊かに干支を表現しています。期間中は作品の販売も行っています。お気に入りの作品と一緒に素敵な新年をお迎えください。

【出展者】(敬称略・50音順)

■立体

安保ゆき子、さかいゆきみ、佐々木紀政、正垣宏樹、杉本たけ子、蟬丸、寺田ひかり、中尾健二、南野佳英、藤本イサム
松尾 哲、松田一戯、松田京子、松田政斗、山本吉信

■平面

荒木きよこ、生野学園、影山弘樹、上地拝碩、切目あずさ、工藤恵子
コウノ真理、佐藤厚子、島田真衣、書道家 華汀、高砂京子、高松富士子
土屋彰男、椿野浩二、栃原敏子、内藤範子、南光和玄、平位紘豊、藤原正和
藤原 護、藤原洋次郎、Pen²、松尾あい子



蟬丸「土鈴 ゆれ亥」



Pen²「万里一空」

募集

あなたの自慢の年賀状をお寄せください。

2019 干支絵手紙コンクール 作品募集

ご応募いただいた作品をすべて美術館で展示します。

●締め切り…2019年1月4日(金)必着 ●会期…2019年1月6日(日)～1月14日(月・祝) ●会場…あさご芸術の森美術館

■応募規定

- ①テーマ…「亥」「猪」または2019年の年賀状としてふさわしいもの。
- ②応募資格…問わない ③出品数…1人10点まで ④出品料…無料(送料は応募者負担)
- ⑤応募作品…横9.0～10.7cm、縦14.0～15.4cm。「ハガキ」として郵送できる形状のもの。重さは50g以内。ハガキ本体の切り抜き、過度な貼り付けなどは不可。規格外作品は審査対象外となります。
- ⑥出品申し込み…ハガキ裏面に作品、表に差出人の住所、氏名、職業、年齢(1月1日現在)、連絡先(電話番号)を明記し、「干支絵手紙コンクール作品」と朱書きして1月4日(必着)までに届くように、送付してください。
あて先 〒679-3423 兵庫県朝来市多々良木739番地3 あさご芸術の森美術館 干支絵手紙コンクール係
- ⑦その他…作品は返却しません。

市販の年賀状で応募いただいてもかまいませんが、必ず「干支絵手紙コンクール作品」と朱書きしてください。

募集

～朝来からの風～
朝展

応募締め切りは、2019年1月11日(金)(必着)まで

【優秀作品展】
あさご芸術の森美術館
2019年1月26日(土)～3月10日(日)

～朝来からの風～「朝展」2019では、絵画、立体・工芸、書・画、写真の4部門の作品を募集しています。

【～朝来からの風～「朝展」2019 募集要項】

■応募期間…2019年1月11日(金)(必着)まで

■応募資格…日本在住の高校生以上

■応募点数…1部門につき1点

■出品料…1点につき1,000円(大学生・高校生は500円)

■申込方法…応募期限までに出品申込書に必要事項を記載の上、出品料を添えて、和田山ジュピターホール内芸術文化課、またはあさご芸術の森美術館まで持参か郵送してください。

■作品部門

◎絵画

日本画、洋画などの平面作品。10号以上で、1辺116.7cm以内。額装(5cm以内)し、吊り金具とひもを取り付けること。

◎立体・工芸

彫塑、工芸作品。高さ150cm(台座含む)以内で、床面積2㎡以内。人力で運搬可能な作品。

◎書・画

書、篆刻、水墨画などで全紙以内。額装、枠張り、または軸装のこと。屏風不可。

◎写真

写真作品で縦横合わせて140cm以内。額装またはパネル張り。

※作品規定の詳細は募集要項で確認してください。

■審査員(敬称略)

絵画…岡 泰正(神戸市立小磯記念美術館・神戸ゆかりの美術館館長)

山田美耶子(日本画家・兵庫県日本画家連盟理事長)

立体・工芸…大上 巧(陶芸家・兵庫県工芸美術作家協会理事長)

書・画…牛丸好一(兵庫県書作家協会参事・神戸新聞習字紙上展選者)

写真…森井禎紹(写真家・兵庫県写真作家協会最高顧問)

■賞

◎朝展大賞／各部門1点、副賞50,000円

◎朝展準大賞／各部門1点、副賞30,000円

◎朝展奨励賞／若干名、副賞10,000円

◎朝来市教育委員会賞／各部門1点

◎朝来市文化協会賞／各部門1点

◎あさご芸術の森美術館友の会賞／若干

◎入 選／各部門20点程度

■展覧会

あさご芸術の森美術館

1月26日(土)～3月10日(日)

午前10時～午後5時

※最終日は表彰式のため午後3時まで。

■募集要項の取り寄せ・問い合わせ…出品には申込書(募集要項)が必要です。あさご芸術の森美術館のホームページからダウンロードするか、郵送希望の場合は、美術館にご連絡ください。

■郵送先住所

あさご芸術の森美術館

〒679-3423 兵庫県朝来市多々良木739-3

TEL 079-670-4111

和田山ジュピターホール

〒669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置877-1

■朝来市ホームページ

<http://www.city.asago.hyogo.jp>

NEWS トピックス

ASAGO ART VILLAGE

芸術の森トレジャーボックス 海洋堂フィギュア展開催

7月14日(土)～9月2日(日)、1階アトリエ室と2階展示室で「芸術の森トレジャーボックス 海洋堂フィギュア展」を開催しました。

海洋堂は立体造形の分野で世界的に高い評価を受けている模型メーカーです。食品玩具から等身大フィギュアまで様々なジャンルの作品約3,000点を展示し、会期中1万人近い来館者でにぎわいました。

また、会期中に開催した恐竜フィギュアに着色するオリジナル恐竜づくりのワークショップも大盛況。ちょっとしたテクニックで本物のような仕上がりになり、みな、完成作品の出来ばえに満足した様子でした。

フラメンコギターデュオ 池川兄弟コンサート

7月14日(土)、フラメンコギターデュオ池川兄弟による美術館コンサートを開催。情熱的なフラメンコの音色と歌声に加え、二人の軽快なトークに会場はヒートアップ。音楽にあわせて踊る姿もあり、情熱の国ならではの熱いひと時となりました。

学芸員研修生の実習を行いました。

8月1日(水)～8月5日(日)、大学の学芸員資格取得のため、京都美術工芸大学の福田俊宏さんと立命館大学の藤原和さんの2人が美術館で授業実習を行いました。

美術館の作品の扱いなど基礎的な研修に加え、こどもに対するワークショップ立案なども実施。同時期に開催したチャイルドアートキャンプの講

師も務めてもらいました。これからも、2人が朝来で学んだ事を生かしてくれることを期待したいと思います。

アートDE遊ぼう！ CoCoDeで開催

8月3日(金)～5日(日)、アートDE遊ぼう！を開催しました。坂本収、コウノ真里、田中喜典、冨田麻里、椿野彩各氏の手助けやアドバイスを受けながら、参加した子どもたちは、たくさんある材料の中からこれと思う素材を選び、作品作りに取り組んでいました。

また、8月3日(金)4日(土)にはレザークラフト体験も実施。森下いづみ、森下剛、辻井直哉各氏指導のもと、革に様々な模様を刻印しながら、世界に一つのキーケースやネームタグを作りました。

今回のアートDE遊ぼう！は、猛暑ということもありましたが、多々良木の連携事業の一環として、フォレストリゾートCoCoDeの研修棟を借りて行いました。



夏のチャイルド アートキャンプ開催！

8月4日(土)～5日(日)に恒例となった夏のチャイルドアートキャンプ第1弾を実施。初日は学芸員研修生に

よる木の枝を使ったブローチづくりと、マーブリングによるうちわ作りを実施しました。2日目はアートDE遊ぼう！に参加し思い思いの作品を作っていました。

8月25日(土)～26日(日)に夏のチャイルドアートキャンプ第2弾を実施。初日は小原典穂氏指導のもと、お手軽陶芸にチャレンジしました。成形後は家に持って帰って燃焼すると出来上がり。午後からは木っ端の形を生かしたオブジェ作りを実施。2日目は段ボールを使ってみんなで巨大な家づくりをしました。



皿を使って絵を描こう

7月21日(土)、ギャラリー四季彩で、粘土で皿を作った後、その上に好きな絵を描いてオリジナルの皿作りに挑戦しました。普段の絵の具とは違った色化粧に苦戦しながらも、素敵な絵皿を完成させました。

こっぴで好きに作っちゃえ!

8月12日(日)、いろいろな形をした木切れを使って作品作りを行いました。絵や文字をかいたり、色を塗ったり、くっつけたり、木の形状からイメージを発想させてそれぞれ素敵な作品を完成させていました。



木を使って マ〇インクラフト!?

8月19日(日)に、ギャラリー四季彩にて、木を使って冒険に行くための装備作りを実施しました。ひたすら木を削って、へとへとになりながらも思い思いの刀や剣などを作っていました。

中川こども園の 園児たちが研修に!

10月15日に中川こども園の園児たちが、美術館の展示方法や受付業務を学ぶために見学にきました。初めての窓口体験や美術館ショップでの販売体験のほか、展示作品の展示台を使っての展示方法やライトアップを学びました。後日、中川こども園でのオープンスクールで学んだ事を生かし素敵な作品展示を行っていました。

風と光のページェント 芸術の森のハロウィーンナイト

10月27日(土)～28日(日)、風と光のページェント芸術の森のハロウィーンナイトを開催しました。ハロウィーンをテーマにして、約4,000個のキャンドルが多々良木の谷を埋め尽くしました。27日(土)にはクーリーハイハーモニーによるハロウィーンコンサートを開催。4人が醸し出すハーモニーとロウソクの炎が一体となった幻想空間に観覧の人々は酔いしれました。

また両日には友の会企画として、来場したこどもたちにお菓子をプレゼントする「トリックオアトリートお菓子をくれなきゃいたずらするぞ!」を実施、多くのこどもたちでにぎわいました。また今回は美術館と播磨ふれあいの家、フォレストリゾートCoCoDe、田舎暮らし塾が連携し、各館周辺にキャンドルをともし、それぞれの施設が一つの道で結ばれました。



芸術の森の アートマーケット開催!

11月18日(日)に芸術の森のアートマーケットを開催しました。これまで実施していたフリーマーケットに変わる新しいイベントで、作家たちがそれぞれのブースで絵画、陶芸、手芸、工芸アクセサリーなどの販売や、ワークショップを実施しました。また、ケーキやコーヒー、クレープなどの食ブースも出店していただきました。また、恒例

となった、美術館名物キャッチザOKASHIも実施。クイズ正解者にお菓子がまかれるたびに歓声があがりました。800人参加。

花房完昇展 -幻想の詩情-

11月23日(金)～12月9日(日)、美術館アトリエ室において、花房完昇展-幻想の詩情-を開催しました。花房氏の作風は精密に描かれた作品の中に、時間の流れの静と動を感じさせるとともに、ファンタジー性を含んだ幻想的世界観を持っています。

アトリエ全体が幻想空間へと変貌し、来館者を非日常的世界へと誘いました。また今回は花房氏指導のもとワークショップ「マチエールを描こう!!」を実施。マチエールは下地のことで、これを学ぶことにより作品のイメージや仕上がりが大きく変わります。

今回は葉っぱとアクリルジュエツソを使い、作品作りに挑戦。参加者は、一枚の葉っぱが期待以上の作品へと変貌し、仕上がったことに驚きと満足な笑顔をうかべていました。



兵庫県政150周年事業／あさご芸術の森美術館友の会結成20周年事業

アートでつなぐ 鉱石の道・銀の馬車道の 人と、未来へ展

兵庫県が誕生し今年で150年を迎えました。その同じ頃、神子畑鉄橋、羽瀨鉄橋などフランスの架橋技術等の先進技術を駆使し、神子畑から生野へ、生野から姫路への馬車道も完成、生野・神子畑・明延の三鉱山へも、全国から多くの人たちが集まり、活気に満ちあふれていました。明延鉱山が閉山する1987年まで、鉱石を運んだ道沿いには、全国から鉱山関係者が移り住み、ハイカラな文化も流入、多くの芸術文化が花開き、地域に伝えられてきました。

そんな「鉱石の道」「銀の馬車道」(養父市から姫路市の約73km)沿線の作家たちによる企画ができればと考え、県政150周年事業の補助金を活用しながら、友の会主催事業として「アートでつなぐ鉱石の道・銀の馬車道の 人と、未来へ展」を企画しました。作品の募集テーマを日本遺産にちなみ「鉱石の道」「銀の馬車道」と、鉱石にちなみ「金銀銅錫」に設定し、絵画・彫刻・工芸等それぞれの特徴を生かしたアート作品が一堂に集まりました。また、作品展示に加え作品の販売を行い、沿線の作家間交流や来場者とのアートを通じた出会いを提案することにより、新たな芸術文化の花を咲かせることができたと考えます。

■アートでつなぐ 鉱石の道・銀の馬車道の 人と、未来へ展

10月27日(出)～11月18日(日)、姫路市～養父市までのゆかりの作家、24人と朝来市観光大使の織作峰子氏の作品を2階企画展示室と美術館玄関前、1階常設展示室の一部を使い展示を行いました。「鉱石の道」「銀の馬車道」「金銀銅錫」のテーマに沿った作品を最低1点とそれ以外は自由テーマとした作品55点が展示されました。同テーマであるにも関わらず、それぞれの作家の持つ個性や魅力が様々な形や技法を通して来場者を楽しませるとともに、これからの「鉱石の道」「銀の馬車道」の可能性を感じさせてくれる企画となりました。

●出品作家…東日出夫、茨木朝日、岩田健三郎、牛尾啓三、草壁京子、正城信義、高野カヨ、瀧本周造、椿野浩二、坪田政彦、徳賀さよ子、内藤絹子、長岡國人、西垣憲志、西山まい美、藤原次郎、藤原正和、藤本イサム、政木貴子、松岡睦美、水田勢二、明珍宗裕、三輪陽子、山本雅也

●特別出品…織作峰子



■あさご芸術の森美術館友の会 会員交流美術展

10月27日(出)～11月4日(日)、あさご芸術の森美術館友の会会員による交流美術展を開催しました。例年2月頃に実施していますが、今回は友の会企画にあわせて会期の変更とともに、「鉱石の道」「銀の馬車道」「金銀銅錫」をテーマにした作品を募集し、様々なジャンルの作品55点を美術館アトリエ室で展示しました。

■手作り市展

11月8日(木)～18日(日)、鉱石の道と銀の馬車道の沿線作家による作品の展示を行いました。平面・彫刻・工芸・皮革・アクセサリ・裁縫・小物など色々な種類の作品が集まり、多ジャンルの作家が沿線上にいることと、今後のアートイベントでも活躍してくれそうな多くの作家と出会うことができました。また、展示作品については実際に購入することができ、来館者は手に取り、試着するなど、作品との出会いを楽しんでいました。

●出品作家…あさだじゅんこ、東信行、小原典穂、金丸真次郎、黒田ゆかり、坂本収、高階孝子、田崎博和、辻井直哉、中島峰子、橋本友貴、藤本満里子、藤原弥生、萬谷渉、萬谷友希、森下いづみ、山木さとみ、山根良広



■玉岡かおる講演会

「銀の道に息づく記憶の遺産 ～ひとがいて物語をつむぎ歴史となった～」

10月28日(日)午後3時、美術館アトリエ室で、玉岡かおる氏の講演会を開催し、80人の来場者がありました。講演では銀の馬車道をテーマに物質にしか関心を示さない現代人にカツをいれながら、先人たちの物語の上に歴史が築かれた事実を、まちづくりなどに生かしていくヒントになるような内容でした。今後の美術館のみならず多々良木の谷の活性化にもつなげていければと思います。

■清原幹雄講演会

「みちの文化史～馬車道考～」

11月17日(土)午後3時、美術館常設展示室で清原幹雄氏による講演会を開催し、30人の来場者がありました。

今回の企画のテーマでもある「鉱石の道」「銀の馬車道」が日本遺産に認定されたのを機に、「みちの文化と歴史」について学びました。「みち」をとりまく、これまでの日欧の歴史を踏まえたうえでの、それぞれの歴史と文化の位相にふれた内容で、より深く「鉱石の道」「銀の馬車道」を学ぶ機会となりました。

■藤原次郎写真教室

～かたわらの情景をみつける～

11月17日(土)午前9時、美術館常設展示室と美術館周辺で写真家藤原次郎氏による写真教室を開催しました。

当日は小雨混じりの天気でしたが、12人の参加者がありました。最初にプロジェクターとホワイトボードを使いながら、藤原氏の撮影技法の説明を受けた後、実際に美術館周辺で写真の撮り方や方法を学びながら撮影を行いました。参加者の中には終了後にも、覚えた事を復習するように写真を撮る姿も見られました。



あさご芸術の森イズムの神髄 20周年事業へのアプローチとして

兵庫県政150周年事業・あさご芸術の森美術館友の会結成20周年事業として開催しました企画展「アートでつなぐ鉱石の道・銀の馬車道の人と、未来へ展」。友の会の主催事業として美術館を貸し切り企画・運営できるのか不安でしたが、多くの皆さんからのご協賛とご協力、ご支援をいただき無事に終了しました。期間中(10月27日～11月18日)に1,711人の皆さんにご来場いただきましたこと、心からお礼申し上げます。

交流展では、「鉱石の道」「銀の馬車道」と「金・銀・銅・錫」をテーマにした作品作りに多くの作家の皆さんに取り組んでいただいたこと、「手作り市展」では地域の土、木、石、草花等の素材を生かした作品を出展いただいたことで、新たな物づくりにチャレンジする機会を提供できました。併せて、作家を含め地域住民の播磨・但馬の交流が生まれ、芸術文化を核とした物的、人的交流が促進できたと感じています。

また、今年1月に、事業企画書を作成し、事業報告書が整うのが12月ですから1年に及ぶ取り組みでした。友の会理事会だけでは大きなうねりにならない、また森を育てることはできないと感じたので、委員会を組織し、理事に加え、今後友の会を背負ってくれるのであろう若手の会員に声をかけて参画、協力をいただきました。毎月、企画展の委員会を開催し、実施に向けて準備をしていただきました。広報活動など遅々としたこともありましたが、協議を重ねることが、今後のあさご芸術の森づくりへの力を蓄えられたと思っています。

さて、あさご芸術の森美術館は、1998年12月1日に株式会社関西電力から引き渡しを受け、改修工事を経て1999年6月5日に開館し、来年20年を迎えます。美術館運営委員会は4月28日、友の会は、5月25日に設立され、美術館運営の両輪となり、「アートを通して人と自然が対話する」地域づくり、人づくりの活動を展開し、現在に至っています。今回の取り組みを糧に「あさご芸術の森イズムの神髄」といえる友の会20周年事業を展開したいと考えていますので、皆さんのご協力、ご支援をお願いします。

2018年12月7日 あさご芸術の森美術館友の会会長 水田文夫

◆特別協賛／但陽信用金庫、三菱マテリアル(株)

◆協 賛／生野ロータリークラブ、(有)朝来農産物加工所、あさご村おこしセンター、(有)牛尾啓三アトリエ、医療法人社団俊仁会 大植病院 (有)織作事務所、(株)北村建設、(有)スタジオゲイル、全但バス(株)、タクミナ(株)、(株)但馬銀行、たじま農業協同組合、播磨ふれあいの家 兵庫県信用組合、(株)フレッシュあさご、(有)マックスアート、やまき塗装、(有)レンタルハウス

スケジュール 2018.12 → 2019.3

ASAGO ART VILLAGE

月	日	曜	内 容	対 象	期間・時間など	掲載ページ
12	開催中		アート2019 千支展	一 般	1月14日まで	6
			全国こども絵画選抜展 巡回展(加古川市民ギャラリー)	一 般	12月23日まで	4
募集中			朝来からの風「朝展」作品募集	一 般	1月11日まで	7
1	6	土	千支絵手紙コンクール作品展	一 般	1月14日まで	6
	17	木	全国こども絵画選抜展 巡回展(アートホール神戸)	一 般	1月22日まで	4
	26	土	朝来からの風「朝展」優秀作品展	一 般	3月10日まで	7
2	2	土	山内コレクション	一 般	3月10日まで	
3	10	日	朝来からの風「朝展」表彰式	受賞者	午後3時～	7

館長おすすめミステリー

鈴木英治 著「蔦屋重三郎事件帖① 江戸の出版王」

版元蔦屋重三郎が謎解きを

「蔦屋さん、どうしたものでしょう」。出羽久保田藩の佐竹家江戸詰刀番・平沢平格は事件解決のため、蔦屋重三郎に知恵を借りる。

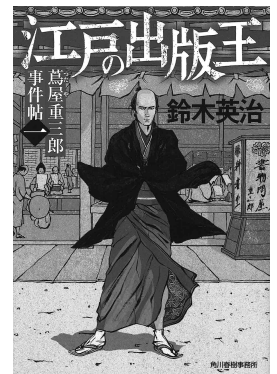
蔦屋は、朋誠堂喜三二(平沢平格のペンネーム)や恋川春町(同僚倉橋寿平の筆名)山東京伝らの黄表紙・洒落本・狂歌本、あるいは喜多川歌麿や東洲斎写楽らの傑作浮世絵を世に送り出し、大ブレイクした江戸の版元(出版社)。人の才能をよく見抜いた、といわれている。

佐竹家上屋敷で、家臣の鴨志田昭之進が殺された。絵をよくする鴨志田の文机には、風景画とおぼしき絵が1枚。蘭画の影響を受けたのか、早馬、富士山、凧(たこ)、米俵、武将、相撲取りが描かれている。じっと見入るが、平格には読み取れない。何も分からない。判じ絵(謎解き)のたぐいか。ならば、この絵を蔦屋に見てもらえば、手掛かりが得られるのではないか。

「武将の兜(かぶと)に三つ葉葵が、それにこの相撲取り・・これは、ただならぬことが起きますね」。蔦屋は気負うことなく答える。

平賀源内の暗殺などもからませながら、臨場感豊かに展開する。「またいつか重三郎に助けてもらうことになるのではないか」。物語はこう結ばれ、平格は、その時を楽しみにしている。

(ハルキ文庫・640円)



この前見た美術館 和田誠一郎

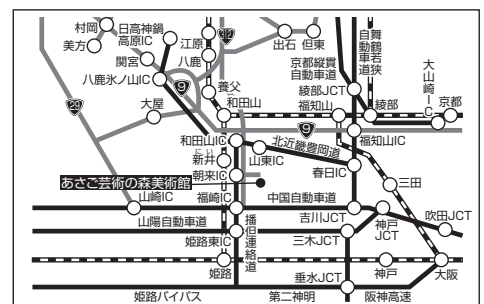
先日、岡山県津山市近くの(奈義町現代美術館)の看板を見てふらりと行った。わが家からは遠かったけど行った価値があった。そこには巨大な円筒が芝生広場にあり先ず度肝を抜かれた。美術館は磯崎新設計の建物であった。荒川修作、マドリン・ギンズ、岡崎和郎、宮脇愛子の作品はどれも空間を演出する秀作で圧倒的なインパクトある現代アートであった。



あさご芸術の森美術館

ASAGO ART VILLAGE

〒679-3423 兵庫県朝来市多々良木739-3
TEL(079)670-4111 FAX(079)670-4113
http://www.city.asago.hyogo.jp/
E-mail : art-village@city.asago.lg.jp



【年末年始の美術館】

美術館は12月25日(火)から1月5日(土)まで休館します。
2019年は1月6日(日)から開館します。